

11/21

Fri

研究校 原村立原小学校

共同研究者 安積順子
(箕輪町教育委員会 指導主事)

誰にとっても 「あしたも来たくなる学校」をめざして

原村で大切にしている子ども観は「子どもはやる気と可能性に満ちており、自己更新していく存在である」です。この子ども観のもと、本校では「あしたも来たくなる学校」をめざしています。その実現のために本年度は研究テーマを「学級での出会いを大切にしたい、ワクワクする探求の授業」としました。奇跡的に出会った学級の仲間と、やりたいことを自分たちで考えて活動する中で、子どもたちの中に、また教師と子どもの間に、突き抜ける豊かな関係性を築くことができると考えています。そこで、今年度は生活科と総合的な学習の時間を「友愛の時間（本校の学校教育目標は、自主の心・友愛の心・けやきの心となっていますので、豊かな関係性ということで友愛をつけました）」として、①クラスみんなでやりたいことを決めて実行する、②体験を大切にする（からだを通して学ぶ）③0から始めて0に戻る（最後のまとめや片付けまで自ら行う）、の3つを大切にしたい取り組みにしました。

しかし、実際には乗り越えるべき課題や校内での意識改革、方向性の共有など、今やるべき現実が目の前にあります。現場のこの課題を丁寧に紐解きながら、学校像実現に向けて、「どんな子ども像や教師像をめざすのか」などを、ゼロから考えていきたいと考えます。本研究会も、従来の研究授業型の公開を一考し、参加者が互いに、学校改革について考え、自分ごととして「あしたも来たくなる学校」になるための交流の場でありたいと考えます。



共同研究者 安積先生から

学校改革の必要性が叫ばれている今、教師の、大きな意識改革が、働き方改革と共に求められています。これまでのとらわれを捨て、新たな教育を創造し、日々子どもとどう対峙していくのか。原小学校の目指す子ども像、教師像、学校像を共に考え、一人ひとりの子どもの日々の姿につながる共同研究を進めていきます。



学び創造研究会

私たちと子どものあゆみ
Vol.2

～日程～

- ① 受付 13:00～13:20
- ② 開会行事 13:25～13:40
- ③ 公開授業 13:45～14:30
- ④ 学びの創造交流会
14:40～16:20
- ⑤ 閉会行事 16:20～16:30